



J・A・C
(第 8 号)

千葉支部だより

発行者 篠崎仁
編集者 結城純一

初夏の奥日光山行



期日 : 2009 年 7 月 25 日 (土) ~ 26 日 (日)

参加者: 小沢けい子、坂上光恵、櫻田直克、篠崎仁、諏訪吉春、高橋正彦、田代貴征、田代治子、豊倉さと子、芳賀孝郎、芳賀淳子、藤井正善、村田正彦、山口文嗣、吉永英明、渡邊信一、以上 16 名

7 月 25 日 芳賀さんのご高配により、学習院光徳小屋に宿泊して初夏の奥日光を楽しむ企画が実現した。私はクロスカントリースキーでこの小屋の周辺は何度も歩いたことがあり、一度は泊まってみたいと思っていた小屋である。日光アストリアホテルを右に見て光徳牧場横を 15 分ほど歩くと木立の中から二階建ての瀟洒な小屋があらわれる。夕食は、豊倉さん、

小沢さん、坂上さん、芳賀淳子さんそして田代夫妻に、材料の買い出しから調理まですべてを担当していただいた。ホテル並みの豪華メニューにみなさん感嘆。高橋さんの軽妙な司会でしばし歓談のあと前庭に移動してキャンプファイア。山の歌の合唱で一気に学生時代にタイムスリップした。(篠崎仁)

7月26日

A 男体山登山

参加者: 篠崎(L)、諏訪(SL)、坂上、藤井、村田、山口、吉永、渡邊

6:30 学習院光徳小屋を出発。車2台に分乗し、一旦三本松手前まで下ってから東に伸びる裏男体林道に入る。狭い道で車1台の幅しかないが、道の両側は鬱蒼としたミズナラ林で時間があればのんびり散策したいところ。路面整備は行き届いている。20分ほどで志津乗越に到着。パーキングスペースはあまり広くない。10台あまりが限度らしいが、2台とも無事駐車できた。

7:10 天候はくもりで不安定な空模様。予報では午後から雨模様となっていた。出発したときはところどころ青空も見え、陽が差していた。登山道入り口から入ったところに、ログハウスの立派な避難小屋がある。二荒山神社の所有という。ここから直ぐに樹林帯の緩やかな上り道になる。このコースは、1合目から10合目までしっかりした標識がつけられている。30分ほど登ると、土砂を止める堰堤がある場所に出て視界が開ける。北面の太郎山が立派な姿を見せた。

7:40 少し早いですが3合目で小休止。メボソムシクイやホオジロのさえずりを聞きながらさらに歩

を進める。湿度が高く、ほとんど無風状態だった。樹林の切れ目から、時折さわやかな風が通ることもあり有難かった。さらに1時間ほど急なふみ跡をたどると、ルートは左(南隣り)の稜線に移り、ざらざらに風化した大斜面(鼻毛の薙)の上部に出る。このあたりから正面に大真名子山が見えるようになり、さらに女峰山もその優雅な山容を楽しませてくれる。

9:20 標高2,000メートルを越えると森林の植生が変わり、シャクナゲの群生地が見られるようになる。白やピンクの大輪があちこちに咲き誇る。急登は9合目までで、あとは南に続くだらだらの稜線を少し歩くと男体山の頂上だ。

10:20 2,484mの1等三角点脇には、戦場ヶ原の古事伝説に由来する長大な鉄剣が天を突き刺すかのように祭られている。足下の戦場ヶ原や湯の湖はもちろん白根、武尊、至仏の山々も遠望できた。少し早いですがここで昼食。

11:00 下山開始。登りと同じルートを一散に下る。1時間ほど下ったところでパラパラッと雨が落ち始めたが、それも直ぐに降り止んで悪路にはまらずに済み、無事下山(13:00)。

(村田正彦)

B 切込・刈込湖

参加者: 芳賀孝郎(L)、芳賀淳子、小沢、櫻田、田代貴征、田代治子、高橋、豊倉

山岳会の会友として上高地から2回目の参加となる日光山行。芳賀ご夫妻のご配慮で宿泊することとなった学習院日光光徳小屋では、夜は星空を眺めながら楽しい語らいの時を過ごした。翌朝、朝食・昼食のおにぎり部隊としての任務を無事終え……、身支度を整え、いざ、切込・刈込湖ハイキングへ。予定より、少し遅めの出発となった。歩き始めは、初夏の強

い日差しが照り返していたが、光徳から一歩入ると、カラマツやミズナラに覆われた山王林道は風も無くとても静かだった。一面、ミヤコザサが揺れることもなく生い茂っている緩やかな登りを行く。汗が滲んでくる。少しきつい登りが続き、1時間程歩いて山王峠付近までくると、木々の合間から男体山が確認できた。「男体山組は、今どの辺りだろうか」と思いつつ、少し

登ると、急に視界が広がる。ズミやレンゲツツジなどの低木がポツリポツリとあるだけの山王峠は、見晴らしが良く、吹き抜ける風が心地いい。昼食にはまだ早いので、ここで暫しの休憩。写真撮影後、涸沼へ。週前半の雨の影響か、ぬかるみが多く、倒れた古木が具合のいい橋の役目を果たしていたりする。晴天であったことに感謝しながら山王峠を越え、長い急な下りを行く。遠くから賑やかな子供達の声とともに涸沼が少しずつ見え隠れしてくる。「ヤッホー！ヤッホー・・・！」の声に答えて「ヤッホー！」と応答してみるが反応が無い。また、さらに大きい声で「ヤッホー！！」こちらも負けずに小学生気分だ。三方を山に囲まれたすり鉢状の涸沼に到着。かつては水を湛えていたのだろうか。今は一面に緑色の絨毯を敷き詰めたような風景が、どこか高原の牧草地を思わせる。涸沼を後にしさらに進む。アップダウンはきつく倒木やぬかるみで道幅が狭くなっている。急斜面に掛けられた階段が意外に登れない。行き違う小学生の元気さに少し圧倒されつつ、切込・刈込湖へ。山の緑を映した深い水色の水面が木立の隙間から少しずつ見えってきた。大蛇の伝説があるという湖は神秘的

で、日に照らされた水面がゆらゆらと静かだ。



「少し小さいな・・・」と感じた切込湖。その少し先には刈込湖が続いていた。ここで昼食をとる。水辺の涼しさに癒されながらおいしい空気とともにおにぎりを頂いた。小峠から湯元までもアップダウンが多かったが、ダブルストックを見事に操りながら優雅に前に行く芳賀ご夫妻。力が入らない足を手で支える私とは対照的だ。後方から聞こえる歌声に励まされ、無事硫黄の匂いのプンプンする湯元口に到着。7.7キロ、3時間半の行程は、私に歩く自信を持たせてくれたと思う。この山行きに参加させていただいたことに感謝しながら、バスに揺られ光徳の温泉へと向う。白濁の湯に浸かる頃男体山組も合流し、夏を満喫した2日間が終了した。(田代 治子)

麻綿原高原・清澄寺ハイキング

日 時:平成21年7月4日(土)天候曇り

場 所:上総国 麻綿原高原・清澄寺

参加者:L櫻田直克、竹島正義、吉永英明、山口文嗣、遠藤将一、豊倉さと子、村田正彦
高橋正彦の8名

コース: 外房線安房小湊駅→内浦山県民の森→麻綿原天拝園→清澄寺→外房線安房天津駅
歩行時間: 約5時間(休憩を含む)

歩行距離: 約15km

アジサイは雨が似合うという、しかし雨の中を歩くのも気が重い。前日の天気予報は雨でした。リーダーも根負けしたのか直前で小湊駅

自由集合とのメールに変更になっていました。当日小湊駅でホームに出ると各車両からパラパラとそれらしき人が出てくる、全員が集まり参

加者8名となりました。天候は予想に反し曇りと暑くなく雨具もいらず快適で小湊駅を右斜めに約50m行くと国道128号線に出る。これを館山方面に数分行くと県民の森右折という信号を右折し、そこから約50m先のT字路を右折しJR線路に掛かる陸橋を渡ればあとは1本道であるので迷うことはありません。道は舗装道路で車は少なく、5月愛宕山登山を連想さ



せるダラダラとした登り道でした。1時間10分で県民の森管理棟に着く、入口で「これより先ヒルに注意」という立て看板の下にスプレーの容器が2つあり、足元に吹き付ける。舐めてみたら海水の3倍ぐらいしょっぱかった。そこは芝生の大きな広場になっており木陰にベンチもありゆっくりとした昼食をとる。食後は方向を西に変え麻綿原へ向かう。木々はうっそうと茂

り、まさに深山霊山に入った感覚になりながら歩く、眼下を見下ろすと結構な高度でした。すかさず遠藤さんが標高300mと答える。まさに海拔0mから登ってきたのだから正味300mいつものまにか登ったことになります。途中で麻綿原まであと何キロという看板が所々にあるが、歩いて歩いてもどの看板も「あと3km」の表示にうんざりしていたら麻綿原入口と清澄寺の分岐点に到着し管理棟から1時間10分。分岐点から10分も歩くと正面の山全体が一面アジサイであまりの見事さに言葉を失う。はじめて見る景観でした。ひと登りすれば大日天堂山頂です。太平洋はあいにく霞んで見ることが出来ませんでした。天拝園社務所のおぼさんの口上によれば初日山、高天神(370m)、妙見山(377m)が清澄三山で、アジサイの苗の数は日蓮宗經典の字数と同数とのことでした。帰路は分岐点からは土の道となり、古道を歩いているような気分になりました。天拝園から清澄寺に1時間で着きました。ハイキングはここで終了です。あとはバスで安房天津駅に到着し、無事完了です。そこから誰ということなく全員の足は酒屋さんに向いていました。山歩きがすきなのか、歩いた後のビールがすきなのかわからない楽しい仲間でした。

(高橋正彦)

千葉支部納涼懇親会

日時:2009年8月22日(土)

[参加者]アイウエオ順

岩尾富士夫、内田勲、遠藤将一、小沢けい子、小疇尚、櫻田直克、佐藤明夫、塩澤厚、篠崎仁、諏訪吉春、高田春男、高橋正彦、竹島正義、津田麗子、豊倉さと子、芳賀孝郎、芳賀淳子、三木雄三、柳下忠義、結城純一

[会友・一般]

大渡英子・高橋琢子・能見勝博、能見直子、吹野義典

会員の相互親睦を目的に毎年一回懇親会が行われています。今年は8月22日に行われました。例年はホテルなどのピヤガーデンでの

ビールパーティーでした。今年は趣を変えて千葉港を出航する納涼船で行いました。生ビールとジュースが飲み放題の納涼船で真夏の

夜景と涼風を満喫しました。提灯の付いた納涼船が港を出航するやいなや生ビールで乾杯、宴たけなわの状態に盛り上がりました。



船は幕張方面に向かい進み海上から見る千葉市中心部の街の夜景と幕張新都心の街の

夜景が夜空に美しい、こんな贅沢な場所でのビールに全員が満点をつけたことでしょう。

昼とは違って夜景は光が蛍の光のようにも見え、また満点星のようにも見え光の幻想のようでした。用意したおつまみやおにぎりはかなり残りましたが、多分船酔いを気遣ったためでしょうからよつともったいない気分でした。乗船時間は1時間30分でしたが短いようでまだ飲み足りない人もいたようで、今度は岡に上がってのビールパーティーをやったようです。来年の懇親会はもっと大勢の参加者が集まること期待しています。盛況のうちに終わり会員間の親睦がまた一段深まりました。参加者は25名でした。(櫻田直克)

房総半島の分水嶺を踏査

千葉支部は、房総半島を南北に縦断する分水嶺のうち、長生郡長柄町から館山市洲崎にかけての総延長約100^{km}区間の踏査を10月からスタートさせます。



第1回分水嶺踏査

日 時:10月11日(日) 午前8時

集合場所:「千葉三越」前(大型観光バスをチャーターしましたので、帰りも出発場所に戻ります。)

出 発:午前8時半

参 加 費:バス代(三千円程度です)

コ ー ス:は長柄町六地藏から長南町笠森観音まで約13^{km}、4時間程度

地図は2万5千分の1「海士有木」

※一般公募の参加者もいますので、時間厳守をお願いします。

※現地の出発地点の道の駅「ながら」は新鮮野菜などが好評です。

トンボの群れを見た

昨日の朝、庭木の蜘蛛の巣にトンボが掛かっていた。指先でつつくと激しく動いた。「助けてやるか」。だが蜘蛛がこちらを見張っているようで、かわいそうだと思ったが、そのまま家を出た。夜、トンボの姿は消えていた。

ずいぶん昔のこと、「トンボは秋を象徴する昆虫」だと国語の授業で教わった。夏から飛んでいるが、秋の季語となっているのは、そのツーツーツと飛ぶさわやかな秋空と似合うためだろう。

この前の日曜日に歩いた高峰山でトンボの群れを見た。まるで飛行機の大編隊。立ち止まると近寄ってきた。1本の棒のようにかぼそい体が秋の静寂を演出しているようだった。

話は飛ぶが、通勤電車に乗り合わせた高校生たちが話していた。夏の思い出を聞きながら、日本海に沈む夕日を思いだした。東京湾や太平洋しか知らない私には、そのときの情景が脳裏に刷り込まれてしまった。真夏の鳥海山登山で初めて見る日本海の夕日だった。光が赤くなって日が沈むと、沖の2つの島が黒い影で浮かんだ。飛島、粟島という島だと知った。帰りの羽越本線桑川一越後寒川あたりか、青い海の粟島が車窓に流れた。きれいだった。

秋風に心が染まるということは、移ろいの姿を心に刻むということだろう。9月は温度差が激しい月。「秋涼」が「冷気が身にしみる」夜もある。ことしの夏、あなたは、どんな思い出をつくりましたか。
(三木 雄三)

東大秩父演習林・自然観察会

普段はなかなか観察の機会のない東大秩父演習林を、現地駐在の文部科学技官の案内で探索します。前夜は、当演習林助教の先生より講義をしていただくことになりました。内容の充実した自然観察会になると思います。ぜひご参加ください。

＊演習林の概要 関東山地のほぼ中央部荒川源流域に当たり、荒川、笛吹川（富士川）、千曲川三川の分水嶺甲武信岳（2,465m）を盟主とする奥秩父連峰の2,000mクラスの山々に囲まれています。地形は荒川の本・支流が深く浸食し、兩岸相迫ったV字谷を形成したため、斜面中・上部には緩斜面もありますが、下部は概して急峻で全体的には典型的な壮年期の山岳地形を見せています。地層的には当演の大部分が属する荒川本流域は中生層ですが、中津川と大血川の流域は古生層です。下記HPより引用。

<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chichibu/>

期日 11月7日（土）～8日（日）

集合 11月7日朝出発します。交通が不便なところなのでマイカー利用を考えています。参加者には別途連絡します。

定員 20名（申し込み先着順）

宿泊 民宿 甲武信（秩父市大滝栃本1567） 電 0494-55-0457

費用 8,000円

大福山(295m)梅ヶ瀬溪谷の紅葉ハイキング



日 時 2009年11月15日(日)

集合場所 上総大久保駅(小湊鉄道)

集合時間 10時30分(上総大久保駅)

(五井駅発9:22 上総大久保駅着10時18分)

小湊鉄道は本数が少ないので五井駅9時22分発に乗車して下さい

歩行時間 約3時間40分(休憩・昼食を含まず)

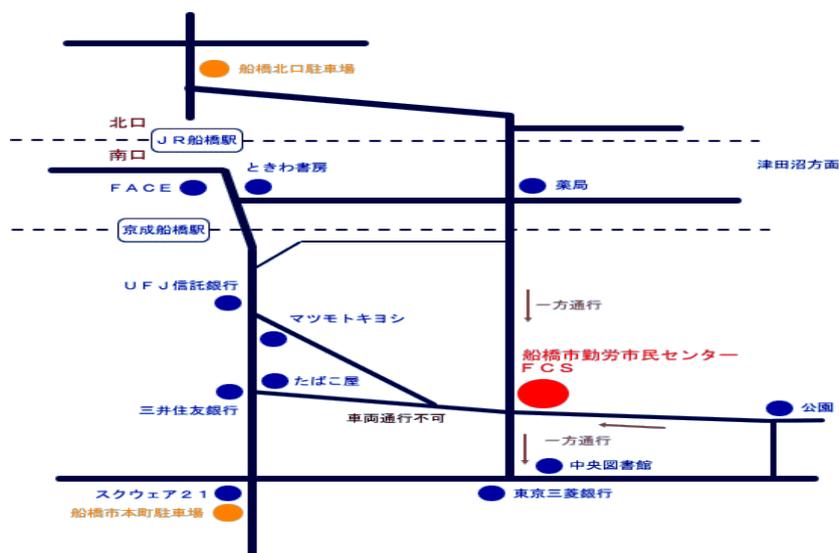
歩行距離 11.5km

山岳特徴 大福山は養老溪谷の西方に位置する山で山頂は照葉樹に覆われ白鳥神社が祀られています

梅ヶ瀬溪谷は養老川の支流黒川で清流と垂直にそそり立つ侵食された崖が見事で溪谷は房総随一の紅葉景勝地です

羽田栄治先生の山岳映画上映と講演会

日 時 2009年9月27日(日)
場 所 船橋市勤労市民センター
船橋市本町4-19-6 TEL(047)425-2551
開 演 午後1時00分より3時間の予定
上演映画 「チョゴリザ花嫁の峰」 1959年 カラコルム遠征隊記録
「ナンダコット征服」 1936年 日本発のヒマラヤ遠征 立教大学遠征記録
定 員 70名 一般の方も来場されますので早めにお越しください



★ 千葉支部新会員・会友紹介

千葉支部に2009年に加入された会員・会友です。

様々な行事を予定しておりますので積極的にご参加下さいますようお願い致します。

会員 鈴木 美代
// 高橋 隆一
// 渡邊 信一
会友 河内 正彰
// 田代 貴征
// 宇津木仁典
// 大古 俊輔

● 編集後記

夏休みに家族で東北旅行へ行きました。仙台の牛タン、三陸の海の幸、盛岡の冷麺。三陸の美しい景色を堪能、、、というよりも食い気ばかりの旅になり、私にだけ一足先に食欲の秋が訪れたようです。皆さんはいかがですか？体調維持の為、この秋はたくさん歩こうと思います。(結城 純一)